

仙台市図書館 2016. 3 Vol.4

# 本の 道の案内

～ 図書館レファレンス事例より ～

～はじめに～

図書館には毎日さまざまな質問が寄せられます。

仙台市図書館では、『本の道案内～図書館レファレンス事例より～』と題して、図書館に寄せられた質問の一部を小冊子にしました。これで4冊目になります。

今回は、仙台市内にある7つの図書館に寄せられた幅広い質問の中から、郷土・地域資料に関する質問を増やして作成しました。

日常の暮らしの中でふと疑問に思ったこと、テーマを決めて調べるときにどんな資料を参考にすれば良いのか、そういうときには図書館員がお手伝いします。本だけでなく、データベース等インターネット情報からも探すことができますので、ぜひ、図書館のレファレンス（調べもの相談）カウンターでご相談ください。



## 目 次

### 質問内容

	ページ
「仙台時間」の定義は？ .....	1
仙台糰（ほしいい）について .....	2
少林（わかばやし）神社について .....	3
公文書にある鎖と節と分とは？ .....	4
古生物学者になるための参考本は？ .....	5
第二次世界大戦中、マレー戦で自転車部隊がたどった道は？ .....	6
世界遺産の富岡製糸場と白石の片倉製糸との関係は？ .....	7
仙台藩の馬政史について .....	8
東北の空襲による被害は？ .....	9
七北田刑場で処刑された人数は？ .....	10
戦時中、仙台の動物園での猛獣の処分について .....	11
スプーンにうつる自分の顔がさかさまなのは どうして？ .....	12
石川啄木の「ふるさとの山に向かいて…」の山は岩手山？ .....	13
ナマズに似た魚で「ギグバチ」「ギグバド」と呼ばれる魚は？ .....	14
仙台市内で災害と関係のある地名は？ .....	15
トイレトレーニングの参考になる本は？ .....	16
「つなぐ」の正しい漢字は？ .....	17
若林周辺の「イグネ」について .....	18
宮城野通りにあるプレートの和歌について .....	19

一高女（一女高？）の移転の経緯は？ .....	20
「つつじがおか」の地名について .....	21
「火おこし」をするにあたって .....	22
太白区太子堂にあったこけし塔について .....	23
愛子周辺で化石がとれる場所は？ .....	24
七夕の短冊はなぜ5色？ .....	25
伊達政宗が森林保護のために発令した制札とは？ .....	26
平安時代の甘味調味料とは？ .....	27
植物標本の作り方のコツは？ .....	28
水の森の叢塚について知りたい .....	29
「光琳笹」とはどんな笹か .....	30
老人ホームで作って使える手芸の本は？ .....	31
ロシア民謡の「ぐみの木」は日本のぐみの木と違うのか？ .....	32
妹が生まれるので、きょうだいが出てくる絵本を読んであげたい .....	33
昔読んだアンデルセンの「ナマリの兵隊」は本当は「スズの兵隊」？ .....	34



よく「仙台時間」といわれるが、定義のようなものはあるのか？

A.

仙台時間とは「約束の時間に遅れがちになること」などをいう。『よもやま探訪記「仙台人」気質』p149 の中にも、「ものごとくに無頓着で時間の観念がない」、「時間を守らないのを「仙台時間」という」ことが書かれている。さらに「会議が定刻通り始まらない「仙台時間」」の記載も発見した。『仙台あるある』p11 には「会議の始まりも仙台時間を見越して案内」していたそうだ。「最近ようやく仙台時間がなくなってきた」とのことだが、明確な定義を見つけることはできなかった。

また、真山彬著『仙台方言考』p92 の中に「今はさる事もなかるべきが、われ等少年の頃の集會は、所定の時間に人が集まらぬが常にて、刻限に遅るることを仙台時間なりと云ひ、主客ともに平氣にてみたりしなり」と仙台時間を表現している一文がある。(同様の文言が『とうほく方言の泉〈中〉ことばの玉手箱』に記載あり。)

『仙臺市民讀本』p84 には「…物事に無頓着で、時間の観念がなく、諸人から時間を守らないことを仙台時間と稱されてゐる」と書かれている。

## 回答プロセス

『宮城県の不思議辞典』『宮城県謎解き散歩』『仙台づくし』『ジミ都市仙台の本』『要説宮城の郷土誌』等の郷土資料には見当たらなかったが、「仙台」や「気質」をキーワードにして調べたところ『よもやま探訪記「仙台人」気質』や『仙台あるある』を発見した。

また、河北新報データベースで検索したところ、数件ヒットし図書資料のヒントを得た。その後戦前の図書資料の中に記載があることが判明した。

### 参考資料

『仙臺市民讀本』 仙臺市教育會 1935 年

『仙台方言考』 真山彬／著 刀江書院 1936 年

『伊達政宗』 小田原参陣 小林清治／著 日本歴史学会 1985 年

『とうほく方言の泉〈中〉ことばの玉手箱』

小林隆 [ほか] /著 河北新報出版センター 2013 年

『よもやま探訪記「仙台人」気質』

石澤友隆／著 河北新報出版センター 2013 年

『仙台あるある』 凜次郎&椎名さおり／著 TO ブックス 2014 年

■オンラインデータベース：「河北新報データベース」

「東北の人と風土に偏見／自己批判も時には強烈…」1996 年 01 月 17 日本紙(朝刊)



仙台糰（せんだいほししい）について知りたい。



江戸時代に仙台藩で作られていた特産品のひとつ。米を原料とした保存食で、旅や戦いの際の携行食料として利用されたもの。伊達政宗が、上方の道明寺糰の製法を参考にして作らせたのが始まりといわれる。製造は、立町の夏井家、国分町の白河家、木町の酒井家、新伝馬町の伊藤家、小田原の松原家の五か所。仙台北下で作られた糰は、その白さが他の産地にないほど見事で、「仙台糰」の名前は全国に知られるようになり幕府や公家にも献上された。上質のものは藩に納められたが、中級以下のものは市中に販売され、駄菓子材料などにも使われた。

全国に知られた仙台糰は明治になって藩の保護を失い、需要が低下したことで衰退した。今では、仙台駄菓子にかつての名産品仙台糰の面影が残るのみとなった。

## 回答プロセス

郷土関係の伝統食や保存食関連の棚で資料を探した。『せんだいづくし』、『仙台事物起原考』に記述あり。『宮城県史』、『仙台市史』を調べると政宗の代に始まったとあり、『仙台藩歴史用語辞典』や、仙台藩史の『東北産業経済史』には、製法の秘密などが詳しく載っていた。『仙台叢書』の「仙臺物産沿革」には、廃藩後軍糧としての需要がなくなったため、立町の夏井家を除く業者は廃業したとある。

また、商工会議所月報『飛翔』2014.7のなかに「地域のたから自慢の逸品」として仙台糰が紹介されていた。

### 参考資料

- 『仙台づくし』 仙台文化出版局／編 仙台文化出版社 1992年
- 『東北産業経済史 第1巻 仙台藩史』 東北振興会／編 東洋書院 1976年
- 『宮城県史 19 民俗』 宮城県／著 ぎょうせい 1987年
- 『仙台事物起原考』 菊地勝之助／著 ヨークベニマル 1995年
- 『仙台市史 1 通史』 仙台市史編さん委員会／編 万葉堂書店 1974年
- 『仙台藩歴史用語辞典』 仙台郷土研究会／編 仙台郷土研究会 2015年
- 『仙台叢書 別集 第2巻』 平重道／解題 宝文堂出版販売 1977年
- 『元祖仙台駄菓子 熊谷屋三百年史』 熊谷屋 1995年



若林文化センターの南にある少林（わかばやし）神社について知りたい。  
特に、何が祀られているのかが気になっている。



『朝日新聞 宮城県版』2007年1月27日 p30の記事によると、「少林神社」は、「旧南小泉の氏神である保食神社の移転に伴い、旧伊達邸の屋敷神と大杉明神、青葉神社の分霊を勧請し、戦後にできた。」「神社は現在では宮城刑務所となっている伊達政宗が建てた「若林城」の名を遺そうと命名されたという。」とある。また、河北新報の記事によると神社の一角には「猫塚神社」と呼ばれる小さな祠もあり、地元有志の主催で「ねこまつり」などのイベントも行われている。

## 回答プロセス

所在地や祭りの日程はみつかるものの、祭神名は遂にわからなかった。なお、この記事掲載は『新・散歩みち』（朝日新聞仙台総局／編）p83 によって知ったものである。後日、インターネットでの情報で回答を補足すると、まず、保食神（うけもちのかみ）を祭神とする南小泉村の保食神社が、明治 22（1889）年の七郷村との合併により、七郷村社の旅立稻荷神社に合祀される。それを、戦後になって、旧伊達邸の屋敷神と大杉明神、青葉神社の分霊を勧請して新設したのが、少林神社なのだそう。

「少林」の表記については、『日本歴史地名大系』に、「名称・由来はつまびらかでない。」としながら、「残月台本荒萩によると政宗が初めて若林と号した」とあり、達磨大師の故事にちなみ、「少林を若林と改めた」（詳しくは『仙台地名考』p187）との記載もある。

また、『大日本地名辞書』p394「少林」の項には、「仙台市の南東偏を汎称し、もと、小泉村の分内たり。連坊、荒町以南、西は広瀬川に至り、東は村郊に尽く。＜中略＞奥州大路、名取より到るものは、古来此を經由し、今に易ふる所なし。蓋、延喜式栖屋駅、亦この間に在るべし。後世其名を失ふ。」とあった。

### 参考資料

- 『朝日新聞 2007年（平成19年）1月27日』p30 散歩みち 86 南小泉  
（『新・散歩みち』 朝日新聞仙台総局／編 荒蝦夷 2008年より）  
『日本歴史地名大系 4 宮城県の地名』 平凡社 1987年  
『仙台地名考 修正増補版』 菊池勝之助／著 宝文堂 1978年  
『大日本地名辞書 第7巻 奥羽』 吉田東伍／著 富山房 1980年  
■オンラインデータベース：「河北新報データベース」



大正時代の公文書（県知事宛「停留所増設許可申請」）に、「十三哩六十六鎖九十一節」「四哩九分」とあるが、「鎖」「節」「分」とはどういう意味なのか知りたい（距離のようだが）。



哩 Mile	1 哩=80 鎖 (約 1.6km)
鎖 Chain	1 鎖=100 節 (約 20m)
節 Link	1 節=10 分 (約 20cm)
分	1 分=1/10 節 (2cm)

（日本では、明治時代 1 寸=3cm、1 分=3mm であった。）

## 回答プロセス

単位の本や事典、各種用語辞典によると、マイル（哩）、チェーン（鎖）、リンク（節）は記載があるが、「分」がでてこない。インターネットで検索すると「英単位換算表」があり、上記のように記載があった。これは、イギリスで使われている「ヤード・ポンド法」の単位で、日本はイギリスの鉄道技術を導入した際、この単位が使われていた。また「測量に用いる長さの単位」とあったので、測量関係もあたってみた。しかし、どの資料にも「分」が載っていない。そこで、「英単位換算表」のホームページの元をたどっていったところ、鉄道会社に勤務していた方が社命により作成したとされる資料であることがわかった。その資料『三菱大夕張鉄道沿革史』は北海道立図書館所蔵の禁帯出資料であるが、ホームページでもその内容が確認できた。

### 参考資料

- 『図解単位の歴史辞典』 小泉袈裟勝／編著 柏書房 1989年
  - 『詳解鉄道用語辞典』 高橋政士／編 山海堂 2006年
  - 『測量用語辞典』 松井啓之輔／編著 共立出版 1994年
  - 『広辞苑』 岩波書店 2008年
  - 『日本大百科全書 23』 小学館 1994年
  - 『三菱大夕張鉄道沿革史』 三菱鉱業大夕張鉱業所／編 2002年
- 「三菱大夕張鉄道 山史」ホームページ （2015年10月1日アクセス）  
[http://www2f.biglobe.ne.jp/~mst\\_iida/yamasi02.htm](http://www2f.biglobe.ne.jp/~mst_iida/yamasi02.htm)





将来、古生物学者になりたい。参考になる本を探している。

(中学生からの質問)

# A.

古生物学を勉強するための基本的な資料と、職業（仕事）として学者になるために参考になりそうな以下の資料を、一般書と児童書を取り混ぜて紹介した。

○古生物学を知るための本

『古生物学入門』 間嶋 隆一／著 朝倉書店 1996年

『地球生物学 地球と生命の進化』 池谷仙之／著 東京大学出版会 2004年

『フィールド古生物学』 大路樹生／著 東京大学出版会 2009年

『古生物学事典』 日本古生物学会／編 朝倉書店 2010年

○職業的な視点で書かれた本

『学術研究者になるには 人文・社会学系』 小川秀樹／編著 ペリかん社 2010年

『ヤングアダルトの本 職業・仕事への理解を深める 4000冊』 日外アソシエーツ 2011年

○実際に学者になった人々の本

『カンブリア紀の怪物たち』 サイモン・コンウェイ・モリス／著 講談社 1997年

『科学者になる方法』 東京書籍 2005年

『5教科が仕事につながる理科の時間』 松井大助／著 ペリかん社 2007年

○受験案内書

『大学受験案内 2015年度用』 晶文社学校案内編集部／編 晶文社 2014年

『新大学受験案内 2016年版』 東進ハイスクール／編 ナガセ 2015年

○参考になるホームページ

「化石友の会」（日本古生物学会が運営）サイト内の「化石の勉強をするには」のコーナーに、古生物について勉強する方法や、古生物学を学べる国内の大学・大学院の都道府県別一覧などが記載されている。（2015年11月アクセス）

<http://www.palaeo-soc-japan.jp/friends/index.html>

「日本古生物学会」ホームページ（2015年11月アクセス）

<http://www.palaeo-soc-japan.jp/index.html>

## 回答プロセス

専門的な分野ではあるが、できるだけ10代でも理解しやすい資料を探した。

探す際、古生物学の事・辞典、古生物学を学ぶための大学選びの資料、参考になりそうな読み物系の本などに分けて検索した。



第二次世界大戦中、マレー（英領）戦で自転車部隊がどの道順をたどったかがわかる地図を見たい。



自転車部隊の自転車は、簡易かつ比較的高速な移動手段として軍用に使用され、19世紀後半に出現したと言われている。

マレー戦は、1941年12月8日に英領マレー半島北端に奇襲上陸した日本軍によって開始され、55日間でマレー半島南端のジョホールバル市に突入した。その作戦には、陸軍第25軍（近衛師団、第5師団、第18師団、第3戦車団、予備兵力の第56師団）で編成されていた。その行軍の際に利用されたのが自転車（歩兵部隊の一部が使用）である。また、この作戦において軍馬の使用を全廃したとの記録もある。

自転車部隊が辿った道順であるが、『マレー進行作戦』の『別冊・付図付表』の中の『付図第三 第25軍マレー侵攻作戦経過概見図』に、各部隊の上陸地から進行していく状況が図示されている。また『日本陸軍機械化部隊総覧』にはシンゴラ上陸からゴダバルまでの略図が載っていた。

## 回答プロセス

いろいろな戦時資料の中に『自転車部隊』は出てくるが、なかなか詳細に記述されているものは少ない。自転車は「歩兵の一交通用具」として使われていたためか。資料調査していく段階で下記の参考資料が見つかり、内容を調査していくが詳細な記述は無い。更に、昭和16年12月の河北新報マイクロフィルム資料でも「自転車部隊」の記事は見つからなかった。

### 参考資料

- 『別冊歴史読本特別増刊号 123』 椎野八東／編 新人物往来社 1990年
- 『日本陸軍総覧』 新人物往来社 1995年
- 『日本陸軍機械化部隊総覧』 新人物往来社 1991年
- 『マレー進攻作戦』 防衛庁防衛研修所戦史室／著 朝雲新聞社 1967年
- 『秘蔵写真で知る近代日本の戦歴8』 森山康平／著 フットワーク出版 1991年
- 『昭和 第6巻』 講談社／編 講談社 1990年



世界遺産に登録された富岡製糸場は白石の片倉製糸と関係があると聞いたが、どんな関係なのか知りたい。



明治5年に官営の工場として操業を始めた富岡製糸場は、明治26年民営化され、三井財閥に払い下げとなり、その後明治35年に原合名会社へ譲渡された。

経営は順調に伸びていたが、昭和の大恐慌、満州事変などの国際情勢の変化等により、いくつかの工場閉鎖を余儀なくされた。この時、富岡製糸場を独立させ、その筆頭株主となったのが片倉製糸紡績株式会社である。

一方、片倉製糸紡績は明治6年に長野県の村で片倉市助が10人繰りの製糸を始め、これが順調に成長し、国内生産1位にまで上りつめた。官営の富岡製糸場が公売のつど参加したが落札できず、半世紀がかりでやっと手に入れた。昭和14年に「片倉製糸紡績株式会社富岡製糸場」となり、その後昭和18年には「片倉工業株式会社」と改称した。さらに、昭和20年に白石製糸場を開始した。

白石製糸場は、明治35年に刈田郡立製糸場として設立され、数度の経営者交替を経て片倉製糸に委ねられることとなった。

なお、白石工場では昭和45年まで生糸が製造されていたが、その後事業を転換した。また富岡製糸場は、化学繊維の普及などにより昭和62年に115年続いた歴史の幕を閉じた。

## 回答プロセス

『富岡製糸場と絹産業遺産群』には富岡製糸場の設立とその背景、官営時代、民営化後、そして片倉製糸に合併されたことなどが載っていたが、「白石」がでてこなかった。そこで白石市史を調べると、「刈田郡立製糸場は、片倉製糸白石工場として一切の経営権を委譲するに至った」とあった。

片倉製糸白石工場が片倉工業に合併される以前に、片倉工業の前身である片倉製糸紡績が富岡製糸場を合併していた、とわかった。

### 参考資料

『富岡製糸場と絹産業遺産群』 今井幹夫／編著 ベストセラーズ 2014年

『白石市史 2 特別史 上』 白石市史編さん委員／編 1972年

『企業名変遷要覧』 結城智里／編 日外アソシエーツ 2006年

『宮城県百科事典』 河北新報社／編 1982年



仙台藩における馬の歴史（馬政史）、宮城県の馬政史について。

A.

仙台は昔から馬産に適した土地で駿馬育成にふさわしい環境であった。

仙台に居城を移した伊達政宗もこれまでの戦闘の体験から馬育には熱心にとりかかり、藩内の産馬の改良や増産訓練に努めるとともに馬種の改良を計った。4代藩主綱村の時に馬政の大綱を決め、勘定奉行の支配下に馬生産方なる役目を置き、二歳駒の登録、馬市の開設など馬政の基本となる「仙台藩産馬仕法」ができた。藩の奨励によって仙台の国分町の馬市も領内で第一の規模となり、仙台藩における産馬事業は藩行政の大きな柱として実施された。

「仙台藩産馬仕法」の成果は明治2年に誕生した「金華山号」で最高潮に達した。金華山号とは、明治9年、東北地方を巡幸中だった明治天皇の目にとまり、御料馬として買い上げられたことは馬政史の中でも特筆に値する。しかし、時代と共に馬政の流れは下降線をたどることになる。

## 回答プロセス

『人づくり風土記』に政宗の馬事政策が詳しく載っていた。『仙台藩歴史事典』には馬産と馬市について、『仙台郷土史の研究』には仙台馬市の起源について載っていた。さらに『宮城県畜産半世紀の回想』によると、明治天皇の御料馬となった金華山号の記載も見つかった。商工会議所月報『飛翔』2015.8にも仙台藩の名馬の歴史、貢馬、馬市についての記述があった。

### 参考資料

『人づくり風土記 4』 農山漁村文化協会 1994年

『宮城県の地理と歴史』 地域社会研究会 1956年

『仙台藩歴史事典』 仙台郷土研究会 2012年

『宮城県畜産半世紀の回想』 春日博／著 宮城県獣医師会 1990年

『東北産業経済史 1 仙台藩史』 東北振興会／編 東洋書院 1976年

『宮城県史 19』 宮城県史編纂委員会／編纂 ぎょうせい 1987年



東北の空襲について、どのような被害があったのか。



	死者	負傷者	建造物被害	主な被害
青森県	931人	897人	15,930戸	青森市…市街地の大半が壊滅、死者747人。 青函連絡船、青森港が標的になる。 八戸…鉄橋、石油タンクが被弾。
秋田県	73人	80人	154戸	秋田市…土崎港日石製油所を中心に爆撃。 130機のB29により、死傷者150人。被災者500人。
岩手県	688人	674人	5,863戸	釜石市…製鉄所が2度ねらわれ、艦砲射撃による砲弾約5,200発で釜鉄は全壊。死者560人、重軽傷621人、家屋被害4,950戸。
山形県	55人	76人	110戸	酒田市の工場や船舶、真室川飛行場、神町(現・東根市)・楯山(現・山形市)の飛行場や軍事施設が爆撃を受ける。
宮城県	1,170人	2,018人	12,821戸	仙台市…波状攻撃により全市を破壊。死者911人、被災者57,321人、家屋11,933戸。 他に気仙沼、小牛田、石巻など。
福島県	783人	478人	4,200戸	郡山市…化学工場が狙われ、死傷者553人、家屋2,220戸。 いわき市…商工業施設・学校が標的になる。

## 回答プロセス

「空襲」等で検索し、出てきたものの中から該当のありそうな下記資料について調査し、県ごとにまとめてみた。戦後の混乱時でもあり、資料によって若干の違いがあり、実際にはこれよりずっと多いと思われる。なお、岩手県については「艦砲射撃」も含んだ。

### 参考資料

『日本の空襲 1 北海道・東北』三省堂 1980年

『日本の空襲 10 補巻 資料編』三省堂 1980年

『日本列島空襲戦災誌』水谷鋼一／著 中日新聞東京本社 1975年

『山形県の百年』岩本由輝／著 山川出版社 1985年



泉区にある七北田刑場で処刑された人数が知りたい。



七北田刑場は仙台藩の刑場であり、仙台北下琵琶首（現在の花壇）にあったが、寛文6年（1666年）米ヶ袋に移り、元禄3年（1690年）頃、郊外の七北田へ移され、以後178年間刑場となった。

処刑場跡とその周辺には、供養のための地藏菩薩や供養塔が立ち並んでいる。

処刑された人数については以下の資料に詳細があった。

『泉市誌 下巻』p472によると、178年間に約7,000人で死刑のない年もあったとされる。

『仙台・泉の散歩手帖』p113では、約5,000人とある。

『旧跡をたずねて 仙台とその周辺』p26によると「年間平均三十人から三十五人、一日最高十九人が処刑された」とある。

## 回答プロセス

七北田刑場（跡）は比較的郷土資料に掲載されている場所なので、仙台・泉の市史や地誌を中心に、仙台藩の歴史などとも併せて探した。

### 参考資料

『仙台郷土研究』 限定復刻版 6 仙台郷土研究会／編 14巻6号 1944年

『仙台市史 1 本篇1』 復刻版 仙台市史編さん委員会／編 1974年

『仙台藩の罪と罰』 吉田正志／著 2013年

『仙台事物起原考』 菊地勝之助／著 ヨークベニマル 1995年

『泉市誌 下巻』 泉市誌編纂委員会 1986年

『仙台・泉の散歩手帖』 木村孝文／著 宝文堂 1998年

『旧跡をたずねて 仙台とその周辺』 河北新報社 1964年



戦時中、仙台の動物園で行われたという猛獣の処分について調べたい。



当時の仙台市の動物園は、埋立造成地跡の評定河原にあった。園の経営と交通手段となる電車運賃による収入増加が期待され、仙台市電気水道事業部電車事業所による主管で、昭和 11 年 4 月 1 日に開園した動物園である。

当初、経営は順調であったが、戦争の影響で徐々に赤字になっていき、その数字は昭和 18 年資料で、収入 2 万・支出 5 万で、赤字 3 万になっていた。ちなみに、開園時の動物たちの 1 日の飼料代は約 35 円、市職員の月給は 36.7 円との記録がある。

動物園の存続については市議会でも度々質問があり、廃止には動物の処分が伴うため苦悩するが、昭和 19 年 3 月 2 日提出の「意見書」が多数決で採決され、猛獣類は戦時下の保安上、処分することとなった。この意見書は『仙台市交通事業五十年史』p557 に全文の記載がある。

処分の内容は、『宮城縣仙臺市事務報告書並財産表 昭和 19 年』p91 の記録により、次のとおりである。

「危険性動物ノ非常処分 戦局緊迫下國土防衛上保安警備ノ萬全ヲ期スルタメ三月二十五日ヨリ同三十一日ノ間ニ於テ獅子他十一點ノ猛獣類ヲ非常措置ヲ以テ銃殺処分シタリ」

そして、翌 20 年、7 月の大空襲で全面的に施設を焼失した動物園は、そのまま廃止となる。

## 回答プロセス

戦時中のためか、参考資料の記述内容は統一性を欠き、仙台市で発行された資料でさえその種類や数は必ずしも一致しない。が、『仙台市交通事業五十年史』p558 では処分された猛獣は「白熊 2、熊 4、罽 2、獅子 2、豹 1、虎 1 の計 12 頭」との記載があった。

### 参考資料

『仙台市史 2 本編 2』 復刻版 萬葉堂書店 1975 年

『仙台市交通事業五十年史』 仙台市交通局 1979 年

『仙台はじめて物語』 逸見英雄／著 創童社 1995 年

『宮城縣仙臺市事務報告書並財産表 昭和 19 年』 仙台市 1945 年

『七月十日は灰の町』 石澤友隆／著 河北新報出版センター 2008 年



スプーンにうつる自分の顔が、さかさまなのはどうして？  
(小学生からの質問)



表面がなめらかにみがかれた金属は光をよく反射するので、鏡と同じようにものを映すことができる。スプーンのように表面がゆがんでいるものは光のはねかえり方が変わり、上下が逆になったり、大きさが変わって映ったりする。

- ・スプーンの内側：表面がへこんでいる「おう面」なので映ったものは細長く、上下さかさまに見える
- ・スプーンの外側：表面がふくらんでいる「とつ面」なので映ったものもふくらんで見える

『かがくあそび ふしぎをためす図鑑』 p20

『キッズペディア科学館』 p120

## 回答プロセス

小学生の質問なので、子どもの身近な疑問が載っているような雑学の本のコーナーと、児童書の科学の書架を探す。科学のコーナーでわかりやすい上記説明が載っている資料を発見した。

### 参考資料

『かがくあそび ふしぎをためす図鑑』 高柳雄一／監修 フレーベル館 2012年

『キッズペディア科学館』 日本科学未来館／監修 小学館 2014年





石川啄木の「ふるさとの山に向かひて言うことなし ふるさとの山は  
ありがたきかな」という詩は、どの歌集に収められているのか。  
また「ふるさとの山」とは岩手山の事を指しているのかを知りたい。



この歌は歌集『一握の砂（いちあくのすな）』に収められている。

「ふるさとの山」を岩手山だと断定している資料は見つけられなかったが、岩手山であろうと推測している資料として、『石川啄木辞典』p243-244、『岩手山 いわての名峰徹底ガイド』p72-73、『日本の名山 2 岩手山』p14 などがあり、岩手山と姫神山だと記述がある資料として『啄木歌集全歌評釈』p139がある。また、岩手山と姫神山のどちらかなのかという「ふるさとの山論争」についての記述が『石川啄木事典』p174にある。

## 回答プロセス

まずこの歌を調べると、歌集『一握の砂』の第二章「煙」にあることを確認し、図書館の蔵書から『一握の砂・悲しき玩具 石川啄木歌集』を提供した。

次に「ふるさとの山」が岩手山を指している資料について、「石川啄木」をキーワードとし検索。『石川啄木事典』p174の「山」の項目に「啄木の「山」と言えば、何と言っても故郷洪民に関連する岩手山と姫神山とに関わる「ふるさとの山」が名高い。「ふるさとの山」とはどちらの山なのか、の「ふるさとの山論争」もある。」という記述があった。p243「岩手山」の項目に歌集『一握の砂』には、岩手山を詠み込んだと思われる短歌が七首あり、母なる山の姫神山に対して、父なる山と捉えていると考えられる」という記述と共にこの歌があった。

また、「岩手山」をキーワードとして検索すると、『岩手山いわての名峰徹底ガイド』p72に「啄木の作品にはふるさとの象徴として「岩手山」（あるいは岩手山と推定される山）が数多く登場する」とあった。

### 参考資料

『一握の砂・悲しき玩具 石川啄木歌集』 石川啄木／著 新潮社 2012年

『石川啄木事典』 国際啄木学会／編 おうふう 2001年

『岩手山 いわての名峰徹底ガイド』 岩手日報社 2005年

『日本の名山 2 岩手山』 串田孫一 [ほか]／編 博品社 1997年

『郷土資料事典 3 岩手県』 人文社 1998年

『啄木歌集全歌評釈』 岩城之徳／著 筑摩書房 1987年

Q.

近所の沼に生息しているナマズに似た魚で「ギグバチ」「ギグバド」と呼ばれる魚について調べて欲しい。

A.

この魚の正式名称は「ギバチ」と思われる。

『宮城県百科事典』p259に「ギバチ」の解説として写真（白黒）と「なまずに似てうろこはなく、8本のひげと大きなあぶらびれが特徴である。15–20 cmぐらいでつかむとギーギーと鳴く。～ギギ科で方言ではギグ、ギグバチ。」との記載あり。

他同様に『宮城の魚』p200に写真（カラー）と地方名として「ぎんぎよ ぎくばち」「ギギともそっくり」と解説されている。

『学研生物図鑑 魚類』p58、p209に写真（カラー）と説明文の記載あり。

『広瀬川流域の民俗』のp48では、「ジグバチ・ヂク・ギグ・ジジ（ギバチ）」と記載がある。

方言関連では『近世仙臺方言書 翻刻編』のp21に「ぎくばち キクバチカジカ クロカヂ カノコトぎぎうの事不分」とあった。また、「広瀬・名取川水系魚類相調査報告書」p90には魚名の方言の項があり、中に「ギバチ（ギグバチ、ギグ）」とあった。

## 回答プロセス

地元のサイカチ沼で見られた魚であるため、郷土資料の魚類を中心に調べた。その中の『宮城の魚』を確認すると「ギバチ」（地方名「ぎくばち」）についての記述があった。

確認のため『宮城県百科事典』で「ギバチ」の項を見ると、「方言ではギグ、ギグバチ」との記述があった。「地方名」「方言」とあるので、方言や民俗関連の資料も調べた。

また、同じ魚を指すと思われる「ギグバド」については、インターネットで検索してもヒットせず資料にあたっても記述をみつけることができなかった。

### 参考資料

『宮城県百科事典』 河北新報社／編 1982年

『宮城の魚』 マリンピア松島水族館／編 河北新報社 1995年

『学研生物図鑑 魚類』 学研 1990年

『広瀬川流域の民俗 調査報告書第9集』 仙台市歴史民俗資料館 1990年

『近世仙臺方言書 翻刻編』 菊池武人／著 明治書院 1995年

『広瀬・名取川水系魚類相調査報告書』 中村守淳／著 仙台市 1976年



仙台市内で地名が災害と関係のあるところを知りたい。



東日本大震災以前から宮城県の地名について研究している、宮城県地名研究会会長の太宰幸子氏の著書が全般的に詳しい。

そのため太宰氏が書かれた以下の本を中心に紹介した。

『地名は知っていた 下』p57-93「仙台」の項に蒲生、八郎兵衛エ谷地、念仏田 など

『みやぎ地名の旅』p71-88「第四章 災害・崩壊地名」に燕沢、栗生 など

『災害・崩壊・津波 地名解 地名に込められた伝言』（地名索引／地名一覧あり）

『災害・崩壊地名 地名にこめた祖からの伝言』（仙台市内の地名あり）

## 回答プロセス

蔵書検索システムより、「災害」「津波」「地名」などをキーワードに検索をした。

### 参考資料

『仙台平野の歴史津波』 飯沼遊戯／著 宝文堂 1995年

『地名は知っていた 下』 太宰幸子／著 河北新報出版センター 2012年

『仙台城下の地名』（仙台・江戸学叢書14） 太宰幸子／著 大崎八幡宮 2008年

『災害・崩壊地名 地名にこめた祖からの伝言 宮城県地名研究会叢書Ⅱ』

太宰幸子／編著 宮城県地名研究 2010年

『みやぎ地名の旅』 太宰幸子／著 河北新報出版センター 2011年

『あぶない地名 災害地名ハンドブック』 小川豊／著 三一書房 2012年

『歴史としての東日本大震災 口碑伝承をおろそかにするなかれ』

岩本由輝／編 刀水書房 2013年

『災害・崩壊・津波 地名解 地名に込められた伝言』

太宰幸子／著 彩流社 2013年

『地名は災害を警告する』 遠藤宏之／著 技術評論社 2013年

Q.

はじめてのトイレトレーニングの参考になる本はありますか？  
子どもに読んで聞かせる絵本もあるといいのですが・・・

A.

○トイレトレーニングの参考になる本

『短期速効おむつはずれ』

たまひよこっこクラブ／編 ベネッセコーポレーション 2009年

おしっこやトイレに興味を持たせ、トイレに誘うコツ、外出先対策など詳しく解説。

『おむつはずし1週間』 主婦と生活社／編著 主婦と生活社 1997年

始める前にイメージトレーニング。あせらずのんびりおむつはずし。

Q&A で分かりやすい。

『やさしいおむつはずれ』 帆足英一／著 赤ちゃんとママ社 2009年

『カリスマ・ナニーが教える1週間でおむつにさよなら！トレーニング講座』

ジーナ・フォード／著 朝日新聞出版社 2012年

○子どもに読んで聞かせる絵本

『おしりしりしり』 長野ヒデ子／作 佼成出版社 2007年

しりとりしながら、おまるに誘う。「おしりしりしりいいきもち。すっきり  
すっきりいいきもち。」歌って、踊って楽しく学べる。

『ぷくちゃんのすてきなぱんつ』 ひろかわさえこ／さく アリス館 2001年

ぷくちゃんが何度失敗しても大丈夫。おかわりぱんつがあります。

『うんちがぼとん』 アロナ・フランケル／え・ぶん アリス館 1984年

## 回答プロセス

「オムツ」、「トイレトレーニング」をキーワードにして検索。また、件名「排泄」と資料種別を「絵本」、全項目「トイレ」をキーワードに検索した際にもいくつか資料が見つかった。泉図書館・子供図書室の「子育て支援コーナー」に設置されている資料や、おはなしの中の主人公と一緒にトイレができるような絵本もあわせて紹介した。

参考資料

『人に聞けない育児のちっちゃな悩み解決BOOK』

赤すぐ編集部／著 メディアファクトリー 2010年

『五感を育てるおむつなし育児』 三砂ちづる／著 主婦の友社 2013年

『じぶんでおしりふけるかな』 深見春夫／さく・え 岩崎書店 2013年

『くろくまくんトイレでち〜！』 たかいよしかず／さく・え 2014年

『ノントンおしっこしーしー』 キヨノサチコ／作・絵 偕成社 2008年

Q.

「つなぐ」という漢字は「繫」と「繫」の2種類あるが、どちらが正しいのか？

A.

複数の辞書で調査したところ、いずれも「繫」の字が記載されていた。

「繫」の字は『大きな活字の新明解現代漢和辞典』では俗字、『大漢語林』では略字であるとそれぞれ記載されていた。

## 回答プロセス

参考開架から以下の資料を調査した。

### 参考資料

- 『大漢和辞典 第8』 諸橋轍次／著 大修館書店 1989年  
『大漢語林』 鎌田正／著 米山寅太郎／著 大修館書店 1992年  
『講談社 新大字典』 上田万年／[ほか]編 1993年  
『大きな活字の新明解現代漢和辞典』  
景山 輝國／編著 伊藤 文生／編著 三省堂 2012年  
『角川最新漢和辞典』 鈴木修次／[ほか]編 角川書店 1995年  
『字通』 白川 静／著 平凡社 1996年  
『字訓』 白川 静／著 平凡社 2005年

### 【俗字】と【略字】について

俗字…俗間に用いる正格ではない漢字。また、俗間に通用する文字。

「恥」を「耻」とする類。↔正字

略字…字画の複雑な感じについて、その点・画（かく）を省いて簡略にした文字。

また、その漢字に代用される字形の簡略な文字のこと。

(例)「應」を「応」、「學」を「学」など

広辞苑(岩波書店)第6版より



地元である若林近辺のイグネ（居久根）に関する資料が見たい。



「いぐねとは、風雪から家屋敷を守るためや、食料や建材、燃料として利用するために敷地を取り囲むようにして植えられた屋敷林のこと」である。

藩祖政宗から 4 代綱村の時代に新田開発が進展し、それに伴い集落ができ、広大な屋敷には居久根がそなえられていった。居久根は杉以外にもハンノキ、栗、ケヤキ、赤松、桜、ヒノキ、竹など多種多様な樹木が入り交り、防風、防雪、防霜の効用をもたらし、また、燃料、堆肥、食料などの恩恵を与えてくれた。そのため、仙台藩でも居久根を保護する政策をとっていた。

## 回答プロセス

「イグネ」をキーワードに郷土資料を検索。『杜の都・仙台』『イグネのある村へ』などの資料があることがわかった。それらを見ると、若林近辺では六郷・七郷・長喜城の地名がでてきたので、それらの地域が書かれてある資料を探すとともに、それぞれの本に紹介されている参考文献の所蔵を検索していった。

### 参考資料

- 『ふるさと七郷』 七郷の今昔を記録する会／企画 タス・デザイン室 1993 年
- 『仙台市史 特別編 1 自然』 仙台市史編さん室／編 1994 年
- 『仙台市史 特別編 9 地域誌』 仙台市史編さん室／編 2014 年
- 『仙台市史 通史編 5』 仙台市史編さん室／編 2004 年
- 『足元からみる民俗 20』 仙台市歴史民俗資料館／編 仙台市教育委員会 2012 年
- 『イグネのある村へ』 菅野正道／著 蕃山房 2014 年
- 『杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選 ガイドブック』  
仙台市建設局百年の杜推進部緑化推進課 2002 年



仙台駅東口から延びる宮城野通に10首の和歌のプレートが埋め込まれているが、その和歌すべてを知りたい。



『宮城野の散歩手帖』 p23-p25 に 10 首すべてあり。

宮城野通の北側（見瑞寺前から久近寺前まで）に 5 首と南側（榴岡四丁目バス停附近）に 5 首。

代表的な歌としては以下のものが挙げられる。

- ・さまざまに こころぞとまる宮ぎのの 花のいろいろ むしのこえごえ  
千載和歌集 源 俊頼
- ・あはれいかに くさはらのつゆのこぼるらむ 秋風たちぬ 宮ぎののはら  
山歌集 西行法師
- ・宮木野の 露吹きむすぶ風の音に 小萩がもとを 思ひこそやれ  
源氏物語 桐壺

## 回答プロセス

宮城野区の地誌が詳しい『宮城野の散歩手帖』を調べると 10 首すべて載っていた。また、仙台市生涯学習支援センター（旧仙台市中央市民センター）で発行していた『雅のまち宮城野』というリーフレットにも記載があった。歌枕の“宮城野”という言葉からも調べてみたが、そちらでは 10 首すべてが一緒に載っているものは、見つけれなかった。

さらに、河北新報のデータベースで検索すると関連記事（1992 年 9 月 18 日付夕刊）が見つかり、10 首とも歌枕の“宮城野”が詠みこまれており、歌人の扇畑忠雄が選定したことがわかった。

### 参考資料

『宮城野の散歩手帖』 木村孝文／著 宝文堂 1999 年

『地元学』 地元学の会／企画編集 新しい杜の都づくり宮城野区協議会 2000 年

『みちのくの和歌（うた）、遙かなり』 伊達宗弘／著 踏青社 1998 年

『歌ことば歌枕大辞典』 久保田淳／編 角川書店 1999 年

『雅のまち宮城野』（※リーフレット）

仙台市生涯学習支援センター（旧仙台市中央市民センター）／発行 2013 年

■オンラインデータベース：「河北新報データベース」1992 年 9 月 18 日夕刊 河北抄





**Q.** 「つつじがおか」の地名について、榴ヶ岡、榴岡、榴が丘等いくつかの表記があるが、それぞれの由来について、また、どれかに統一されているのか知りたい。

**A.**

名前の由来は榴岡公園付近の段丘一帯がつつじに覆われていたので「つつじがおか」と言われるようになった。もとは「躑躅岡」、または「山榴岡」と表記されていて、どちらも読みは「つつじがおか」だった。「躑躅岡」は画数が多いので、のちに書きやすさから「山榴岡」の山を略し「榴岡」の表記が広まり、現在に至る。

「榴ヶ岡」の「ヶ」が付く表記の方が古く、昭和末期の区画整理の時に「ヶ」の付かない「榴岡」に統一されたが、地元の住民たちから「ヶ」の付く方も残したいという意見があったため、「榴ヶ岡」の表記も残っているようである。

## 回答プロセス

過去にも同様の調査依頼があり、その時の回答資料や新しく所蔵されたもの、宮城県図書館での所蔵等を調べ、資料を提示した。

区画整理についての資料がなかったので、ネットで検索してみたところ、『ウォッチン!みやぎ』というテレビ番組のサイトで、以前取材された内容が記載されていたので、こちらも併せて参考として紹介した。

### 参考資料

『要説 宮城の郷土誌』 仙台市民図書館／編 宝文堂 1983年

『角川日本地名大辞典 4』

「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編 角川書店 1979年

『日本歴史地名大系 4』 平凡社 1987年

『みやぎ地名の旅』 太幸幸子／著 河北新報出版 2014年

『仙台地名考』 菊地勝之助／著 宝文堂出版販売 1971年

### インターネット検索

『ウォッチン!みやぎ』サイト内「ど〜なのDJ」コーナー

(2013年10月17日アクセス)

<http://tbc-sendai.co.jp/03tv/watchin/dj/index.html>

Q.

「火おこし」の体験をするので（「火打石式」）「火おこし」について知りたい。また、その際メノウやヒスイを使うときいたが、その石について「火打石」がどういう石かも知りたい。

A.

『今すぐ身につけたいサバイバルテクニック』p24-27『火と炭の絵本 火おこし編』p12-17に「火おこし」のやり方の記述があった。また、『熱と火の正体』には「発火法の発明」の項に「火打石」「火打金」の発火について詳しい記載があった。

『大冒険術』p52によると、「石は硬いチャート（角石）や黒曜石、石英がよい」とあり、『縄文生活図鑑』p64に江戸では「玉髓（メノウの仲間）が火打石として多く使われた。」とあった。また、『火をつくる』p64に「石英、水晶、フリント、メノウなどの硬いケイ酸質の鉱物で、発火性のよいためには割れ口が尖った刃になるような角ばったものがよく、石英ならばどこのものでもよいというものではありません。」との記載があった。『火と炭の絵本』p17にも、火打石として「珪酸分の多い石英（水晶）の仲間の石で、おもに玉髓や瑪瑙が使用されていたとの記述があった。

『日本の鉱物』『結晶宝石図鑑』では、メノウ、黄鉄鉱、石英などの鉱石を確認した。

## 回答プロセス

当初の相談内容は「火おこし」のやり方についてだったが、「火打石」がどういう石なのかそこから知りたいとのことで、改めて確認したところ上記資料の提供に至った。

### 参考資料

『今すぐ身につけたいサバイバルテクニック』

かざまりんぺい、えびなみつる／著 誠文堂新光社 2011年

『火と炭の絵本 火おこし編』 すぎうらぎんじ／編 農山漁村文化協会 2006年

『日本の鉱物』 松原聰／著 学研教育出版 2009年

『結晶宝石図鑑』 R.F.シムス、R.R.ハーディング／著 あすなろ書房 2004年

『大冒険術』 かざまりんぺい、えびなみつる／著 誠文堂新光社 2004年

『火をつくる』 小口正七／著 裳華房 1991年



太白区太子堂周辺に以前あった、こけし塔の場所を知りたい。



こけし塔は、昭和 37 年 5 月から平成 5 年 12 月まで、仙台市太白区長町六丁目の交差点内に建っていた。31 年間交差点の真ん中で交通安全を呼びかけてきたが、交通量の急増に伴い解体。平成 19 年に JR 太子堂駅が新設、幹線道路も完成し、こけし塔が建っていた道路（長町跨線橋）はなくなった。

## 回答プロセス

太白区の郷土資料及び住宅地図などを見たが、こけし塔についての記述はなかった。当時の長町の様子を知っている方に聞き取りをした結果、現在は無くなっている道路（長町跨線橋）に建っていたことは推測された。聞き取りの内容を踏まえて、河北新報データベースで「こけし塔」を検索した結果、該当する記事が見つかった。

また長町の情報紙『長町ゆとりーと』101 号 p1、124 号 p3 にも記載があり、航空写真集『伸びゆく宮城』p89 で当時のこけし塔を確認した。

長町跨線橋については『みやぎの国道をゆく』p 40-41 に地図とともに記載があった。

### 参考資料

『長町ゆとりーと 101 号～150 号』 長町まざらいん／編 2012 年

『伸びゆく宮城 航空写真集』 河北新報社 1990 年

『みやぎの国道をゆく』 野村和正／著 東北建設協会 1986 年

### ■オンラインデータベース：「河北新報データベース」の記事

- ・1993 年 9 月 11 日 仙台・長町のシンボルこけし塔「そろそろ隠居させて下さい」
- ・1993 年 12 月 4 日 さようなら『こけし塔』
- ・1994 年 5 月 21 日 交番だより 長町交番（仙台南署）この記事の中に「こけし塔は旧国道 4 号が JR 東北線をまたぐ長町 6 丁目に昨年まであった地域のシンボル」という記載がある。

Q.

夏休みの自由研究で化石のことについて調べているが、愛子周辺で化石がとれる場所があるか知りたい。

(小学生からの質問)

A.

青葉区愛子周辺で化石のある場所は、各種資料により地層で判断できることが分かった。竜の口溪谷、広瀬川流域では三滝、郷六・青葉山トンネル西口付近、茂庭松倉、白沢、秋保鉦山跡、評定河原、霊屋橋付近の地層等で見つかっている。宮城県史の附録図9には、愛子付近が植物化石の産地と記載されていた。

書籍以外の情報源としては、東北大学総合博物館ホームページ『フォッシル・センダイ』「仙台周辺で見つかる化石について知りたい時にお役に立つサイト」や、仙台市科学館のホームページ「自然史図鑑 [化石図鑑]」（仙台市内の産出地あり）を紹介した。

## 回答プロセス

蔵書検索システムで「カセキ」「ミヤギ」等をキーワードにしたところ、『宮城懸史 15 博物』p308～仙台付近・第三紀層産化石表に産出箇所の記述があった（周辺では白沢・茂庭等）。

また「広瀬図書館 図書館だより平成 26 年 8 月 1 日 No.11 号」の「シリーズ郷土の歴史」の「郷六の地名」の中に「青葉山トンネル西口南側、山裾に化石の森と呼ばれる場所があり」とあった。インターネットで検索し、東北大学総合博物館ホームページの「フォッシル・センダイ」のサイトや仙台市科学館のホームページを見つけた。その他、郷土資料の地学・地質関連の書籍を確認した。

### 参考資料

『広瀬川の自然』 仙台市 1980 年

『気分は宝さがし！ せんだい地学ハイキング』 地学団体研究会仙台支部／編 2011 年

『新版 仙台の地学』 地学団体研究会仙台支部 1974 年

『宮城懸史 15 博物』 宮城縣史編纂委員会 1987 年

『宮城の地学ガイド』 宝文堂出版販売／出版 1988 年

『仙台市史 特別編 1』 仙台市史編さん委員会 1994 年

『産地別日本の化石 650 選』 大八木和久／著 2003 年

『仙台の自然 平成 23 年度版』 仙台市教育局学校教育センター／編 2011 年  
仙台市科学館ホームページ「自然史図鑑」（2015 年 2 月アクセス）

[http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/nature/amethyst/fossil/?op=search\\_by\\_area&area1=45&](http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/nature/amethyst/fossil/?op=search_by_area&area1=45&)

東北大学総合博物館ホームページ『フォッシル・センダイ』（2015 年 11 月アクセス）

[http://www.museum.tohoku.ac.jp/exhibition\\_info/mini/fosss/index.html](http://www.museum.tohoku.ac.jp/exhibition_info/mini/fosss/index.html)



七夕の短冊はなぜ5色なの？

(小学生からの質問)



5色は陰陽五行説の青、赤、黄、白、黒によるもの。自然界の現象をそれぞれ色で表わしている。

春は草木が芽吹く季節なので木をあらわして青、夏は暑いので火を連想させるので赤、秋は草木が枯れていくことが戦いで使う刃を連想させるので白、冬は暗くて冷え込むので黒、黄色は大地の色が黄色なので黄としている。

## 回答プロセス

子どもからの質問だったので児童書を探したが、なぜ5色なのか、由来までは見当たらなかった。年中行事の本を中心に紹介し、5色の由来については、一般書の中でもわかりやすい記述のものを紹介した。

### 参考資料

『年中行事コツのコツ 3』 リブリオ出版 2007年

『楽しく遊ぶ学ぶきせつの図鑑』 長谷川康男／監修 小学館 2007年

『現代こよみ読み解き事典』 岡田芳朗／編著 柏書房 1993年

『暦の百科事典』 暦の会／編 本の友社 1999年

『仙台七夕 伝統と未来』 国宝大崎八幡宮仙台・江戸学叢書 3

近江恵美子／著 2008年

『仙台七夕浪漫 由来と七夕飾りの作り方』 菊地ひろ子／ほか著 2001年



伊達政宗が森林保護のために、制札を発令したと聞いた。  
どういうものだったのか知りたい。



札の本文として、『東北開発史』p268 に以下の記載が見つかった。

札

一、漆の木一人に付十五本づゝ、毎年裁可申事

附根苧無油断可仕事

中略

一、桑楮漆下々奉公人知行之内へも裁可申候

其外兼て被仰付候通之竹木、植不申ものには為科人足二十日づゝ召使はく候

附ムザト伐取者於有之者、為科錢小判一両可被召上事

右條々相背者於有之堅曲事に可被仰付者也仍如件

元和六年九月朔日

家老連署

『東北産業経済史 第1巻 仙台藩史』p234 によると、この時の札を「元和の竹木條令」という。

山林は木材資源としてだけでなく、漆などの特産品、薪など燃料、山菜など食料資源の供給地であり、また、防災上からも、その管理は重要課題であった。とくに桑・漆・楮・竹については、植えつけの命令を繰り返し出して資源の拡大に注意を払い、その一方、竹や木については、勝手に伐採することを禁じ、そむいた場合は多額の罰金を科して資源の保持に努めていた。

## 回答プロセス

「森林保護」のキーワードを「仙台」「伊達」等と組み合わせて検索してもヒットしないため、郷土史コーナーから直接探すことにした。すると、『東北開発史』の目次から第三編第六章第七節「森林保護」の項を発見し、そこに制札文を見つけた。意味については、『仙台市史 通史編3 近世1』p181 に解説があった。

### 参考資料

『東北開発史』 竹内運平／著 歴史図書社 1978年

『仙台市史 通史編 3 近世 1』 仙台市 2001年

『仙台市史 資料編 12 伊達政宗文書 3』 仙台市 2005年

『東北産業経済史 第1巻 仙台藩史』 浅野源吾／編 東洋書院 1976年

『日本史用語大辞典 1 用語編』 柏書店 1978年



平安時代の調味料で「砂糖」の代わりに使用されていたものが知りたい。  
たぶん果実の甘みだと思うのだが、その資料を探している。  
その他、もしあれば平安時代以前の甘み調味料も知りたい。



『砂糖入門』や『砂糖の事典』によると、砂糖は、奈良時代に中国から日本へ伝来されたとある。しかし、大変貴重だったため、実際には代用品が使用されてきた。

『日本食生活史』や『新編日本食品事典』には、果物などの自然の生産物から甘味をとっていたとの記載があり、『食の民俗事典』p332では「柿の皮は砂糖以前の甘味料として重要な働きをしてきた」とある。干柿は甘味が強く、甘味料が少ない当時にあっては実に貴重な調味料であった。

また、『砂糖のちから』p44には、「ハチミツやくだものは、砂糖ができるずっと前から食べられていて、甘ずら（つる草の汁を煮つめたもの）、飴（大麦を発芽させてつくる）、甘酒（米と米こうじを発酵させてつくる）を甘いものとして楽しんでいた」との記載もあり、平安時代以前も、これらのもので甘味を摂っていたようである。

## 回答プロセス

蔵書検索システムで「サトウ」「レキシ」「カンミ」などをキーワードに、甘味料の基本情報を調べてみた。

『食の民俗事典』の調味料の項には、黒糖・白砂糖・水飴・柿の皮・蜂蜜と、柿が堂々甘味グループに列記されているし、『日本古代食事典』でも、柿が甘味の代用品として使用されていたことが確認できた。

### 参考資料

『日本食生活史』 渡辺実／著 吉川弘文館 1982年

『新編日本食品事典』 杉田浩一「ほか」／編 医歯薬出版 1982年

『砂糖入門』 齋藤祥治「ほか」／共著 日本食糧新聞社 2010年

『食の民俗事典』 野本寛一／編 終風舎 2011年

『砂糖のちから 植物からの贈りもの』 素朴社 2009年

『砂糖の事典』 日高秀昌「ほか」／編 東京堂出版 2009年



植物標本の作り方のコツを知りたい。

(小学生からの質問)



<作り方のポイント>

- ・ 標本作りの目的をもつこと。
- ・ 国立公園や私有地など植物採集が禁止されているところもあるので気を付けること。  
身近なところにもたくさんの植物があるので、初めは自宅に近いところから始める  
と良い。
- ・ なるべくその植物の完全体を採取するように心がける。
- ・ 押し始めて二日目に形を整えると出来栄が良くなる。 など

具体的な作り方は、『身近な植物となかよくなろう』『植物の観察と標本の作り方』  
『解剖・観察・飼育大事典』に詳しい記述があった。『標本に基づいた仙台市野生植  
物目録』にはカラー写真の植物標本の写真が記載されている。

また、植物標本作りに参考になりそうな仙台市科学館、東北大学植物園の各ホー  
ムページも紹介した。

## 回答プロセス

蔵書検索システムより「植物」「標本」などをキーワードに検索。同時に児童書と  
一般書の植物のコーナーから標本の作り方が載っているものをさがした。

郷土資料のコーナーからも、仙台での植物の採集の参考になるものを紹介した。

インターネットで「植物標本」「仙台」で検索すると仙台市科学館と仙台市野草園  
で標本作りに関する教室を行っていることがわかった。また、科学館のホームペー  
ジには「自由研究の進め方を学ぼう」という教室の資料として、「植物採集とおしば  
標本の作り方」が載っている。また、東北大学植物園のホームページでは、植物標  
本館の紹介と「標本の作り方」が載っていた。

### 参考資料

『身近な植物となかよくなろう』 田中肇／著 さ・え・ら書房 1988年

『植物の観察と標本の作り方』 本田正次／著 ニュー・サイエンス社 1977年

『解剖・観察・飼育大事典』 内山裕之／編著 星の環会 2007年

『標本に基づいた 仙台市野生植物目録』 仙台市公園緑地協会 2010年

「仙台市科学館(H27年度 自由研究の手引き)」ホームページ (2016年2月アクセス)

[http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/truetop/topic15\\_06.html](http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/truetop/topic15_06.html)

「東北大学 植物園 (標本の作り方)」ホームページ (2016年2月アクセス)

<http://www.biology.tohoku.ac.jp/garden/harbarium-top.htm>





水の森市民センター近くの叢塚（くさむらづか）について知りたい。



附近一帯の地主であった村上左膳が築き、宮城控訴院長西岡宣軒の選書で建てられた碑。明治15年にコレラが大流行し、仙台でも7月21日に肴町で発生、9月6日に終息するまで罹病者930名、うち410名が死亡した。市内の火葬場の一つであったこの地で276体が処理された。ここに捨て置かれた残骨と灰で堆積されたものが叢塚であり、これを哀れんだ士族の村上左膳によって供養碑が建立された。近くには上部が折れた「虎烈刺（コレラ）焼場供養塔」もあり、この塔のうしろの雑木林になっているところが火化（火葬）の址である。

## 回答プロセス

データベース「ジャパンナレッジ」の日本国語大辞典で叢塚を調べると、無縁の死者のためにたてられた墓、無縁塚、無縁墓とあった。

「叢塚」「水の森」をキーワードに検索すると、『宮城県史 22 災害』や『水の森』という地元学研究資料がヒット。それらの記述から回答にたどりついた。

また、『宮城県史 17 金石志』p222に「荒巻の叢塚碑」の項があり、『仙台市史 特別編9』p117に叢塚の記述とその写真、『泉市誌 上巻』p299にコレラの流行・叢塚碑の記述、『仙台の石仏散歩』p60にも簡単な記述があり、『仙台昔語電狸翁夜話』にはコレラ騒動についての記述があった。

### 参考資料

『宮城県史 22 災害』 宮城県／著 ぎょうせい 1987年

『宮城県史 17 金石志』 宮城県／著 ぎょうせい 1987年

『水の森』 青葉区地元学研究委員会／編 新しい杜の都づくり青葉区協議会 1995年

『仙台市史 特別編 9 地域誌』 仙台市編さん委員会 2014年

『泉市誌 上巻』 泉市誌編纂委員会 1986年

『仙台の石仏散歩』 木村孝文／著 宝文堂 1996年

『仙台昔語電狸翁夜話 復刻版』 伊藤清次郎／述 小西利兵衛／編 今野印刷 1990年

■オンラインデータベース：「ジャパンナレッジ」

Q.

「光琳笹（こうりんざさ）」とはどんな笹なのか見てみたい。

A.

「光琳笹（こうりんざさ）」とは、竹の皮に金箔を施し、料理をのせるもの。

尾形光琳の有名な逸話がある。嵐山に仲間と花見に出かけたとき、彼らは贅を凝らした行厨から山海の珍味を取り出したが、光琳はひとり竹の皮の包みから握り飯を食べていた。

人々は嘲笑したが、よくみると竹の皮の裏には金銀を使った精巧な蒔絵が施されていた。しかも食べ終わると大堰川へ流してしまった。

この逸話がもととなり、現在では、料理を盛り付ける竹の皮に金箔を施したものを「光琳笹」といい、高級料亭などで供されている。

## 回答プロセス

はじめ、「光琳笹」を笹の種類だと思い、植物や園芸関係を調べたが見つからなかった。データベース「ジャパンナレッジ」の日本国語大辞典には「光琳菊」、「光琳梅」、「光琳松」などはあったが、「光琳笹」はヒットしなかった。

そこで、インターネットで「光琳笹」を検索すると、料理学校のサイトに尾形光琳の上記逸話と料理をのせた「光琳笹」の写真があった。尾形光琳といえば、江戸時代の画家、工芸家ということで人物事典などを調べると『朝日日本歴史人物事典』のp341、『世界人物逸話大事典』のp203-204に記載があり、図書資料でも逸話を確認することができた。

### 参考資料

『朝日日本歴史人物事典』 朝日新聞社／編 朝日新聞社 1994年

『世界人物逸話大事典』 朝倉治彦／編 角川書店 1996年

■オンラインデータベース：「ジャパンナレッジ」

辻調グループ校友会ホームページ「日本料理の料理観 その1 畑耕一郎」2015年

[https://compitum.net/col\\_rec/kyojyu/kyoujyu1.html](https://compitum.net/col_rec/kyojyu/kyoujyu1.html) (2015年8月12日アクセス)



手芸が苦手な年配の方でも簡単に作って使える物が載っている本はないですか。老人ホームで使いたいのですが。



簡単に、ということだったので児童書の手芸コーナーからゆびあみや編み物などの本を何冊か提供。

一般書からも『脳活性手芸百科 手作りで脳もイキイキ！若返りやリハビリ効果も期待できる！』という本等を提供した。

## 回答プロセス

「手芸が苦手な年配の方でも」という事だったのでキーワードを「かんたん」や「はじめて」とし、場所区分を「児童開架」にし検索をかける。その中でよさそうなものを何冊か提供し見てもらった。

また、老人ホームで使うとの事だったのでキーワードを「リハビリ」として検索し、見つかった資料を提供した。

### 参考資料

『はじめての編み物ゆびあみ』 寺西恵里子／作 汐文社 2012年

『はじめの一步あみもの&ぬいものできた！はじめて、かんたん、できちゃった！』  
のむらまりあ／著 日本ヴォーグ社 2013年

『タオルとゴムだけでできるかんたん！マスコット』  
及川丈夫／作 汐文社 2003年

『かんたん！かわいい！ひとりでできる！ゆびあみ』  
寺西恵里子／著 日東書院本社 2012年

『脳活性手芸百科 手作りで脳もイキイキ！若返りやリハビリ効果も期待できる！』  
ブティック社 2010年

『ゆびあみはじめてレッスン ゆび先で編む健康手芸』  
篠原くにこ／監修 主婦の友社 2003年



ロシア民謡に「ぐみ」の木が出てくる曲があるが、この「ぐみ」は日本の「ぐみ」とは違うのか？

A.

『ロシア音楽事典』p207-208の「小さなぐみの木」の項に「楽団カチューシャの訳した題名だが、原題は「細きリャビーナ」といい、「リャビーナは日本ではナナカマドと呼ばれる灌木で、「ぐみ」ではない。」とあった。また、『トロイカから私を呼んでまで ロシア愛唱歌集 続』のp42-44にも「小さなぐみの木」の記載があり「「ぐみ」と訳されていますが、実はナナカマドです。」と、同様の記述があった。

これらの資料で、原題の綴りもわかったので、露和辞典をひいてみると、「①ナナカマド ②その実」の訳が確認できた。

結論として、「リャビーナ」は、「ナナカマド」であり、日本で言う「ぐみ」ではない。

## 回答プロセス

植物図鑑でぐみの木について調べたが、ロシアと日本での違いについての記述はなかった。次に、インターネットで「ロシア民謡」、「ぐみの木」をキーワードに検索してみると、その民謡が「小さなぐみの木」という曲名であることがわかった。

そこで、ロシア民謡やロシア音楽の本を調べ、上記の回答にたどりつき、原題の綴りも判明したところで、念のため、辞典をひいて意味も調べた。

### 参考資料

- 『ロシア音楽事典』 日本・ロシア音楽家協会／編  
河合楽器製作所・出版部 2006年
- 『トロイカから私を呼んでまで ロシア愛唱歌集 続』  
山之内重美／著 東洋書店 2004年
- 『研究社露和辞典』 東郷正延 [ほか]／編 研究社 1988年



今度おねえさんになる娘に、きょうだいが出てくる絵本を読んでもあげたいのですが、何かおすすめの本はありますか？



次の絵本を紹介した。

『ねえ だっこして』 竹下文子／文 田中清代／絵 金の星社 2004年

主人公は猫。飼い主のお母さんに赤ちゃんが生まれ、大好きな膝にだっこしてもらえない。我慢しているけど甘えたい上の子の気持ちを猫の目線で描く。

『ちょっとだけ』 瀧村有子／作 鈴木永子／絵 福音館書店 2007年

お母さんが赤ちゃんの世話で忙しいので、お姉さんになったなっちゃんは身の回りのことを自分ひとりでやってみます。でも、眠くなった時だけはどうしてもお母さんに甘えたくなるのです。

『あさえとちいさいもうと』 筒井頼子／作 林明子／絵 福音館書店 1982年

一緒に遊んでいた妹が突然いなくなり、お姉ちゃんが探しに行くお話。子どもの視点から街の様子が描かれていてドキドキする心配な気持ちが伝わってくる。

【その他に紹介した絵本】

『ねえさんといもうと』 シャーロット・ゾルトウ／さく 福音館書店 1980年

『まねしんぼう』 みやにしたつや／さく・え 岩崎書店 2015年（1999年の再刊）

『ティッチ』 パット・ハッチンス／文・え 福音館書店 1975年

『おにいちゃんだいすき』

ローラ・M・シェーファー／作 ジェシカ・ミザーヴ／絵 フレーベル館 2014年

## 回答プロセス

「きょうだい」、「おにいちゃん」、「おねえちゃん」、「いもうと」、「おとうと」などのキーワードで検索した。続いて、『絵本の住所録』の「兄弟・姉妹」の項目を参照した。また、『絵本・子どもの本総解説』の「きょうだいの本」の項目を参照した。

参考図書

『絵本の住所録』 舟橋齊／編著 法政出版 1993年

『絵本・子どもの本総解説』 赤木かん子／著 自由国民社 2009年

Q.

昔、アンデルセンの「ナマリの兵隊」という本を読んだ。  
もう一度読みたいと思って探したら、「スズの兵隊」というタイトルになっていた。記憶違いだったのだろうか？

A.

この作品の原題は「Den Standhafting Tinsoldat」（デンマーク語）で、日本では1903年(明治36年)に藤井紫影が帝国文学という雑誌で、「鉛の兵隊」というタイトルで初訳した。「Tin」という単語はデンマーク語や英語では「スズ」という意味であり、大正期以降は「錫の兵隊」と訳されることが多くなっていった。

1954年(昭和29年)に岩波書店から出版された『岩波の子どもの本』シリーズでも「ナマリの兵隊」で出されたが、1996年に「スズの兵隊」に改訳。

他にも小学館から「しっかりもののすずのへいたい」、富山房からは「一本足のへитай」というタイトルで出版された。

## 回答プロセス

「へитай アンデルセン」で蔵書検索し、スズとナマリ両方のタイトルがあることがわかった。「ナマリ」と訳されている本は、仙台市図書館の所蔵では1976年岩波書店から出版されたものだけで、他の本は「スズ」となっている。何冊かの本を読み比べ、訳の違いは多少あるが同じ内容のものであることを確認した。

また、児童文学の翻訳に関する本で、アンデルセンの作品がどのように翻訳されてきたかを調べた。

### 参考資料

『スズの兵隊』 アンデルセン／作 岩波書店 1996年

『図説児童文学翻訳大事典 第2巻』

児童文学翻訳大事典編集委員会／編 大空社 2007年

『児童文学翻訳作品総覧 5 北欧・南欧編』 川戸道昭／編 大空社 2005年

『ナマリの兵隊』 アンデルセン／著 岩波書店 1976年

『ハンス・クリスチャン・アンデルセン』 鈴木徹郎／著 東京書籍 1979年

『デンマーク語辞典』 古城健志／編著 大学書林 1993年

本の道案内～図書館レファレンス事例より～

---

平成 28 年 3 月発行

編集 仙台市図書館

発行 仙台市民図書館

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町 2-1

せんだいメディアテーク内

電話 022-261-1585 (代)

---